

受付番号	4	受付月日	令和8年8月18日 午後 1時50分
------	---	------	-----------------------

東郷町議会議長

水川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

無会派

議席番号

6 番 氏 名

山 下 茂

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 大規模災害発生時における防犯対策及び危機管理について	(1) 大規模災害への準備や対策と同じく極めて重要な災害発生時(後)における、防犯対策及び危機管理について問う。 ア 防犯・性被害リスクに対する町の認識と基本方針について問う。 (イ) 東郷町地域防災計画における防犯対策・性暴力防止の位置づけはどのようなか。 イ 避難所における防犯対策及び女性・子どもの安全確保について問う。 (イ) 防犯カメラ・照明等の整備について (イ) 部外者の不正侵入防止への対策（避難者とビジター確認）について (イ) 女性・子ども優先エリア等のゾーニングについて (イ) 同じく、視界と動線の防犯設計について (イ) 夜間・早朝の巡回実施について (イ) テントや車中泊エリアでの防犯対策について (イ) 防犯意識の可視化と注意喚起について (2) 避難所外での防犯パトロールの取組について問う。 ア 被災地区・倒壊/浸水家屋周辺の巡回等 (イ) 警察組織等との情報共有や行動連携 (イ) パトロール隊のビジュアル明確化 (イ) 地域自主防災組織の活用方法 (3) 外国人住民・多文化共生地区への配慮について問う。 ア 情報の均等伝達の重要性の認識について (イ) 巡回中(パトロール)であることが分か	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
2 安全な歩行環境の確保と計画的な歩道整備について	りやすく伝わる案内や工夫への考えは。 (4) 外国人コミュニティリーダーや技能実習生の受入れ企業との連携について (4) 異常発生時や緊急時の対応について問う。 ア 不審者・不審車両等を発見した場合 イ 性被害・性ハラスメント・DVなどの報告や相談があった場合 (1) 歩行環境および通学路整備における本町の基本方針について問う。 ア 第6次東郷町総合計画および都市計画マスタープランにおいて、歩行者環境の整備及び通学路の安全確保はどのように位置づけられているか。 イ 高齢者、障がい者や妊産婦等の歩行環境に対する町の基本姿勢はどうなっているか。 (2) 危険箇所の把握状況と整備の決定基準について問う。 ア 町内の車道と分離して設けられている歩道の総延長距離はどの程度か。 イ 地元との協議や各種点検等を通じて把握している「歩道未整備箇所」及び「構造上危険な歩道（幅員不足・段差・ガードパイプ未設置等）」の現状認識と課題は何か。 ウ 今後、歩道整備や改修を推し進めるにあたり、整備の優先順位を判断するための客観的な基準や計画はあるか。 エ 特定地域における通学路・歩行空間の危険性と認識について (7) 傍示本、祐福寺や白土地区などでは、歩道幅員の狭小や段差（凸凹）で、車椅子シニアカーやベビーカー等での通行が危険な状況にある歩道があるが、本箇所の危険性に対する町の認識を伺う。 (4) 町管轄外の道路（県道、国道）において町として愛知県や警察などの関係機関へどのような要望を行っており、現在の協議状況はどうか。 オ 現実的な安全対策の推進と今後の整備の見通しについて (7) 用地買収等を伴う大規模な歩道整備には時間を要するが、その間の暫定策としてカラー舗装（グリーンベルト）、ハンプやゾー	町長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
3 120 周年事業を契機とした郷土愛醸成と自発的な学びの推進について	ン 30(プラス)導入、防護柵の設置など、即効性のある安全対策を積極的に導入する考えはあるか。 (i) 国・県の交付金や補助制度の活用状況と今後の計画的な歩道整備に向けたスケジュールや見通しを伺う (1) 本町が 120 周年記念にあたることから先人への感謝と郷土愛、そしてそれらの先にある国への誇りや愛国心を育む絶好の機会と捉えるべきと考えるが、小中学校教育現場での取組に関して問う。 ア 学校の歴史と地域史を連動させた探究型学習の推進について伺う。 (7) 小中学校における周年事業や地域史・郷土史学習の現状と、「郷土や国を尊重する心の育成」に関するこれまでの取組成果及び評価はどうか。 (i) 先人の苦労・克服の歴史を自ら調べる「課題解決型・探究型学習（PBL）」の充実に向けて、各学校におけるカリキュラム編成の支援方針を伺う。 (ii) 地域の高齢者、卒業生、伝統工芸・芸能の継承者等を学校へ招く「地域人材バンク」の構築や、学校運営協議会と連携した体験学習の拡充についての考えは。 (エ) 歴史資料や口述記録（オーラルヒストリー）を学校現場で利活用し易くするためのデジタルアーカイブ化や、副読本・教材の改訂・充実に関する考えは。 イ 学びの成果を地域創生につなげる「社会参画の場」の創出について伺う。 (7) 探究学習でまとめた「地域の未来像」や「課題解決策」の提言を発表する機会を設けたり、町の施策や都市計画等に反映・還元させる仕組みを作っていくことへの町長の考えはどうか。	町長 教育長 担当部長

（注）要旨は、具体的に記載すること。